

TMT 科学諮問委員会 (J-SAC)

- 秋季年会時の総会での報告以降 3 回の開催。詳しくは議事録を参照、
<https://tmt.nao.ac.jp/researchers/subcom/minutes.html> より公開。
- 2019年度第3回 (09/27)
 - マウナケアでのTMT建設中断の状況について報告。
 - すばるTMTサイエンスブックの進捗について報告と、そこに掲載されるTMT装置ロードマップ・科学運用の内容について議論を行った。
- zoom による臨時開催 (01/27)
 - TMT計画の状況について報告。US decadal survey の状況など。
 - 天文台長より諮問「マウナケアでの建設が不可能となった場合にTMTをラパルマで建設することを科学的観点から支持するか。」
- 2019年度第4回 (02/20)
 - すばるTMTサイエンスブックでの科学課題の議論とラパルマサイト検討タスクフォースのレポートに基づき、TMTをラパルマで建設する場合の科学的観点からの評価について答申を取りまとめた(一部はすばる科学諮問委員会と合同で議論)
- すばるTMTサイエンスブックは完成し、まもなく公開される予定。

TMT 科学諮問委員会 (J-SAC)

- 3/6 にTMT戦略基礎開発研究経費の開発状況報告会を行った。
 - TMT戦略基礎開発研究経費による開発を行っている
 - Second-Earth Imager for TMT (SEIT) 実現に向けた高コントラスト観測システムの開発：村上尚志(北海道大学)
 - Second-Earth Imager for TMT (SEIT) 実現のための極限補償光学装置の開発：入部正継 (大阪電気通信大学)
 - TMT 第1期装置 可視光撮像分光装置 WFOS 用面分光ユニット開発へ向けた基礎開発と技術立証試験：尾崎忍夫 (国立天文台)
 - TMT中間赤外線観測装置MICHIの要素技術開発: 試験機での実証段階へ：本田充彦 (岡山理科大学)
 - TMT中間赤外10-20 μ m高分散分光用CdZnTeイメージングの開発：小林尚人(東京大学)

よりこれまでの開発を含めて報告を受けた。

- 今後のTMT次期装置の開発に向けたサポートについて議論を行った。ユニークな要素開発は進んでいるので、それをどのように次期装置提案に結び付けていくか、TMTプロジェクトに展開するかが課題となっている。
- 予算的に厳しく2020年度は本研究経費の応募は行われれない予定である。